

## 指定管理者評価シート(第2次評価)

所 管 課	健康福祉部 健康生活室 長寿・介護保険課
評価対象期間	平成23年4月1日～平成24年3月31日

### 1 指定概要

施設概要	名 称	川西市緑台デイサービスセンター
	所 在 地	兵庫県川西市緑台6丁目1番地の79
	設置目的	在宅の虚弱老人等に対し、通所の方法により各種のサービスを提供し、その福祉の向上を図るため、在宅老人の援護施設を設置する。
利用料金制		非利用料金制 ・ <del>一部利用料金制</del> ・ 完全利用料金制
指定管理者	名 称	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会
	所 在 地	兵庫県川西市火打1丁目1番7号
指定管理業務の内容		<p style="text-align: center;">指定管理の業務内容を明確に記入してください。</p> <p>(1)老人福祉法第5条の2第3項に規定する老人デイサービス事業であって、通所の方法による入浴、排せつ、食事等の介護、機能訓練、介護方法の指導等に関する事。</p> <p>(2)デイサービスセンターの利用に関する事。</p> <p>(3)施設の利用料の徴収及び減免に関する事。</p> <p>(4)デイサービスセンターの施設及び付属設備の維持管理に関する事。</p> <p>(5)そのほか、市長が必要と認める業務に関する事。</p>
指定期間		平成21年4月1日～平成24年3月31日

## 2 評価結果

緑台デイサービス

評価項目及び評価のポイント	評価レベル	市評価 1次評価 (所見)	委員評価 2次評価(所見)
1 施設の設置目的の達成に関する取組み【有効性】	B		
(1) 施設の設置目的である事業運営の達成	B		
事業計画に則って施設の事業運営が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果が得られているか。	A	ケアマネージャーへの情報の提供、パンフレットの配布を行っている。	特になし
利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組みがなされ、その効果があったか。	B		
施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。	C		
[改善項目]		利用者の増加や広報活動を、一定、実施しているが、さらに効果的な方法を検討していただきたい。	特になし
(2) 施設の利用状況及び事業への参加状況	B		
施設の目的に則って、有効に活用(利用)されていたか。	A	デイサービスの利用者は減少しているが、民間施設では対応できない高齢者が利用しており、一定の評価はできる。	特になし
実施された事業への参加者数の増が図られたか。	C		
[改善項目]		デイサービス事業者は過当競争にあり、民業圧迫のため積極的な広報活動はできないが、効果的なPR策を検討していただきたい。	特になし

評価項目及び評価のポイント	評価レベル	市評価 1次評価 (所見)	委員評価 2次評価(所見)
(3) 利用者の満足度	A		
利用者からの苦情に対して十分な対応がなされたか。	A	毎年、同時期に利用者アンケート調査を実施しており、可能な限り要望に応えていただいている。	特になし
利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られたか。	B		
利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。	A		
その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果が得られたか。	A		
[改善項目]		利用者アンケートでは、満足度が高い割に利用者が増えない結果となっているが、継続してアンケートの要望に応えられるよう努力していただきたい。	特になし
2 効率性の向上に関する取組み【効率性】	B		
(1) 経費の節減	B		
施設の管理運営に関し、経費を効率的に節減するための十分な取組みがなされ、その効果が得られたか。	B	サービスの低下とまらない範囲の中で経費の節減を職員に周知徹底しており、最小限の経費支出に努力されている。	特になし
指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるような工夫がなされたか。	B		
[改善項目]		蛍光灯からLEDへの交換など、さらなる経費節減に努めていただきたい。	特になし
(2) 収入の増加 利用料金制を採用している場合のみ評価	C		
収入を増加するための具体的な取組みがなされ、その効果が得られたか。	C	ケアマネージャーへのデイサービスの特色の紹介、体験利用や民間施設で対応できない高齢者の利用を受け入れるなどの努力をされているが、利用者の増加へつなげていない。	玄関から出るのに時間がかかる利用者も積極的に受け入れ、他施設では断られるような方を受け入れるよう努めている。
[改善項目]		事業内容の精査の上、事業の積極的なPRにより利用者増を図っていただきたい。	特になし
(3) 収支のバランスなど 利用料金制を採用している場合のみ評価	B		
収支のバランスが適切であったか。	B	利用者数の減少により収入が減少し収支バランスを図ることは難しい。	特になし
経費の効果的、効率的な執行が行われたか。	B		
収支の内容に不適切な点はなかったか。	A		
[改善項目]		経費の節減に努力しながら、利用者増へ向けた働きかけを行っていただきたい。	特になし

評価項目及び評価のポイント	評価 レベル	市評価 1次評価 (所見)	委員評価 2次評価(所見)
3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み【適正性】	A		
(1) 管理運営の実施状況	A		
施設の管理運営には、適切な人員配置がされたか。	A	あらかじめ判明している利用者の範囲内で職員の適正な配置を行っている。外部研修など、積極的な研修を受けている。新たな取組みは実施できていない。	利用者に関する最新の情報を使用し、職員全員が集まって事例検討するのが難しい状況下で、「ヒヤリハット」の意識付けを行い、利用者の特徴的な部分について、意識付けをする仕組みを作っている。
業務に必要な研修・教育が適切に行われたか。	A		
施設の維持管理が適切に行われたか。	A		
指定管理者の提案による新たな取組みは実施されたか。	C		
[改善項目]		施設を運営管理している指定管理者としての取組みを期待します。	特になし

評価項目及び評価のポイント	評価レベル	市評価 1次評価 (所見)	委員評価 2次評価(所見)
(2) 個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用など	A		
施設の設置目的に応じた効果的な利用者への情報提供・広報活動が十分になされたか。	A	非常災害時のマニュアルを整備しているが、職員に周知できていない。	特になし
施設利用者の個人情報の取扱いが適切に行われたか。	A		
日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。	A		
防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。	A		
事故発生時や非常災害時の対応が適切であったか。	B		
利用者を限定しない施設では、利用者が平等に利用できるよう配慮されたか。			
利用者が限定される施設では、利用者の選定が公平で適切になされたか。	A	非常災害時のマニュアルを周知徹底し、災害対策に努力していただきたい。	特になし
[改善項目]			
<b>総 合 評 価</b>			
評価ランク	B	[所見] 施設運営に努力いただいているが、利用者の減少が収支バランスに大きな影響を及ぼしている。今後、利用者の増を図るさまざまな取り組みを展開していただきたい。	社協の独自性、独自の取り組みとして他の施設が受け入れに難色を示す方も受け入れているが、指定管理料で賄わなくてよい程度まで利用者を増やす取り組みをしてください。